

令和3年9月第12回松阪市教育委員会定例会会議録

令和3年9月24日（金）教育委員会室

議決事項

なし

報告事項

1. 令和3年度8月児童生徒の問題行動等について
2. 松阪市体育協会加盟団体育成強化補助金交付要綱の一部改正について
3. 「みえ松阪マラソン2021」の開催延期について
4. 「三重とこわか国体・三重とこわか大会」の開催可否について

出席者

教育長	中 田	雅 喜
委員（教育長職務代理者）	岡 田	光 生
委員	長 井	雅 彦
委員	谷 口	雅 美
委員	服 部	美由紀

出席事務局職員

事務局長	鈴 木	政 博
事務局次長	村 田	佳 之
教育総務担当参事兼教育総務課長	中 西	雅 之
学校教育課長	塩 野	光 弘
学校支援担当参事兼学校支援課長	大 辻	結 花
学校支援課子ども安全・安心担当監	小 泉	恵 希
学校支援課子ども支援研究センター所長	原 田	青 子
スポーツ振興・国体担当参事兼スポーツ課長	刀 根	和 宜
スポーツ課マラソン担当監	橋 本	直 也
国体推進室長	前 出	和 也

午後1時30分 開会

○教育長

それでは、ただいまから令和3年9月第12回松阪市教育委員会定例会を開会いたします。

なお、傍聴の申し出がございましたので、私のほうで許可をいたしましたこと、ご報

告申し上げます。

皆様もご存じのとおり、30日まで三重県に緊急事態宣言が発令されておりますことから、先月に引き続き、リモート会議方式で開催させていただきます。

それでは、事項書に従いまして、進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、議決事項がございません。

報告事項1から4までにつきまして、事務局から説明願います。

1. 令和3年度8月児童生徒の問題行動等について

(報告事項1 子ども安全・安心担当監から説明)

2. 松阪市体育協会加盟団体育成強化補助金交付要綱の一部改正について

3. 「みえ松阪マラソン2021」の開催延期について

(報告事項2、3 スポーツ課長から説明)

4. 「三重とこわか国体・三重とこわか大会」の開催可否について

(報告事項4 国体推進室長から説明)

○教育長

事務局からの説明に対し、質問、意見はございませんか。

(委員から「なし」の声)

◆委員

国体の開催関係です。今の説明では中止か延期とありましたが、先日、三重県知事が中止を表明したと報道されておりました。もう一度よく説明をお願いします。

○教育長

その報道は、知事が県としての考え方を県議会に対して表明された際のものであると思います。三重県としては延期を申請せずにこのまま中止すると。ちょうど現在、実行委員会の総会が開催されております。この総会にて、開催を延期するのか、あるいは、延期申請せずにこのまま中止とするのかについて、決定されることとなっております。

◎事務局

三重とこわか国体の中止を決定したのが8月26日でしたが、この決定は、今年度は開催しないとの決定がなされたものでございます。もし延期するならば6年後というルールがある中で、開催可否につきましては、1か月以内に延期か中止を決定する必要があり、その期限、開催を延期する場合の申請期限が9月26日までとなっております。このため、本日、三重県実行委員会総会において延期申請をするのかしないのかの決定がなされようとしているところです。新聞報道でもありますように、延期申請せずこのまま中止の方向で進んでいるとのことですが、正式に決定されるのが本日ということでございます。

◆委員

理解しました。ありがとうございます。

○教育長

他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

質問等がないようですので、報告事項1から4までを承認したいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

○教育長

異議なしと認めます。よって、報告事項 1 から 4 までは承認いたしました。

※※※

○教育長

報告事項が終了いたしましたので、「その他」に入ります。

委員の皆様から何かございませんか。

◆委員

この 1 か月間、小中学校では分散登校やリモート授業が展開されましたが、教育委員会として、検証と申しますか、どのような感触をお持ちですか。

◎事務局

1 クラス 20 人以上の学校については引き続き分散登校を継続し、1 クラス 20 人未満の学校では通常授業を実施している状況です。ただ、今後の状況変化に円滑に対応していくためにもオンライン学習を進めていく必要があるという観点から、緊急事態宣言の期間で 4 日間程度、すべての市立小中学校一斉にオンライン学習を中心とした自宅学習を設定しております。

分散登校につきましては、クラスを 2 班に分けて、A 班はオンライン授業を中心とした自宅学習、B 班は登校しての対面授業を実施しています。具体的に申し上げますと、学校では授業が行われていて、A 班はチームズというソフトを活用して授業を配信し自宅でのオンライン学習、B 班は対面授業という手法を進めています。宿題や課題につきましては、もちろんプリントも併用しますが、ロイノートというソフトを活用して子どもたちのタブレットに配信し、宿題・課題に取り組み、担任に返信するという手法によりできる限り一方通行にならないよう、双方向での授業が可能となるよう工夫をして進めています。ただ、ご家庭によっては、自宅にひとりになってしまう子どももおりますので、学童保育の方々と協力させていただき、学校で預かり、給食も提供させていただくなど、子どもたち一人一人の状況に合わせた支援を継続している状況でございます。

教職員につきましては、低学年の児童でもタブレットの操作に迷いが生じることのないよう、また、子どもたちの視力のこともございませぬので、終日オンライン学習にはならないよう、一日の学習について細かく計画を立てて対応しているような状況でございます。

これらの検証と申しますか、この期間の取組に対して、保護者や児童生徒にタブレットによるアンケートを取らせていただき現在集計中でございますので、集計結果がまとまりましたら、委員の皆様にも説明させていただくとともに、今回で出てきた課題について、もし今後同じような状況になってしまったときに活かせるよう、しっかり進めていきたいと考えております。

◆委員

約 1 か月間、残り数日ですが、引き続きしっかり継続していただくとともに、自宅で一人になる子どもに対するケアについても、よろしく願いいたします。

○教育長

ありがとうございます。全面オンライン学習と設定した日に、ひとり親家庭や親が医療従事者であるなど、自宅で一人になるため学校で預かった子ども、小学校で 567 人おりました。そのうち感染不安を理由に学校を休みたい休ませたいという子どもも 200 人程度おりました。

今回の分散登校については、全体的には肯定的な意見が多かったものの、まだ集計中

ですがアンケート結果から見えてきた課題もございます。ストレスを感じるのか、集中できないのか、眠れないとか。早急に具体的な方向性を定めて今後に活かしていきたいと考えております。いずれにしましても、もっと詳細にアンケート結果を分析した上で、次回以降の定例会にて報告させていただきたいと考えております。

○教育長

他にございませんか。

◆委員

2つあります。1つは教職員へのワクチン接種は優先的に実施されているのかどうか、もう1つは、外国で5歳以上の子どもへのワクチン接種がOKとなったという報道がありました。いずれの日か日本でも接種可能となると思われませんが、その際における子どもたちへの接種差別に対する指導について、松阪市教育委員会としてどのように対応していくのか、お伺いします。

◎事務局

教職員へのワクチン優先接種の件につきましては、松阪市では実施されておられません。ただ、65歳以上の方々の接種の際における余剰ワクチン、つまりキャンセルが発生したときに、教職員で希望される方に接種機会を提供するというのをさせていただきました。また、松阪市におきましては、54歳以下の方につきましても7月上旬から接種券が送付されておりましたので、教職員は割と早い段階から接種機会が得られていたものと捉えております。現段階において接種の目途が立たずに困っているという教職員からの声は入ってきておりませんので、希望者については既に接種済か接種見込みであるものと認識しております。

続いて、ワクチン接種の有無が子どもたちの間で差別やいじめに繋がるのではないかと心配されるということですが、中学生は全員が接種対象であることから、予約を取るのに苦労したとか、副反応が大変だったとか、クラスで話題になることもあろうかと思えます。学校をワクチン接種会場とした場合における国からの通知が以前にありまして、仮に学校を接種会場とした場合は接種した生徒と接種しない生徒が容易にわかる訳ですので、差別やいじめに繋がることのないよう、教職員は慎重な対応が必要であるとの内容です。これは一例であります。このような通知が繰り返し発出されておりますし、市教育委員会からも各校に周知をしております。教職員につきましても、ワクチン接種の有無が何らかの不利益や、差別やいじめに繋がることであっては断じて許されないことであるとの認識を持っているものと考えております。9月2日に不適切な指導がないようにとの内容を改めて通知させていただいたところでございます。

○教育長

養護教諭や特別支援学級の担当教諭、重篤な持病がある子どもを担当する教諭、学校アシスタントの方も含めて、そのような方々からまず優先してワクチン接種キャンセル分への対応をしていただくことをお願いさせていただきました。

◆委員

先日、松阪市のワクチン接種に関する会議がございまして、9月1日時点で多気郡3町も合わせた松阪地区全人口の41.1%が接種済であり、10月末までに全人口の約80%が1回目接種が終わるように供給される見込みであるとの報告を受けました。

○教育長

特に中学3年生、受験時期に感染してしまうことがないように、もし感染してしまっても重篤化しないように、周知徹底をしてまいりたいと思います。また、外国籍の

子どもたちに周知が行き届いているのかということもありますので、改めて周知徹底を図ってまいりたいと考えております。

他にございませんか。

◆委員

先日、町田市において、小学生が1人1台タブレットに起因するいじめで自殺したという報道がありました。松阪市の保護者も随分心配されておられるのではないかと思います。そこで、町田市と松阪市のタブレットの使用方法的な違い、ここが異なるから心配しなくてもいいという点があれば教えていただきたい、また、子どもたちに改めて使用方法の指導が行われたのかどうかも教えていただきたいです。

◎事務局

町田市におけるタブレットの使用方法的なつきまちは、パスワードがすべて同じであったと聞いています。松阪市では、パスワードを子どもたちに知らせることなく学校で管理しておりますので、町田市のような心配はないものと考えております。また、町田市ではチャット機能で子ども同士の間でいろいろな会話がなされていたようですが、松阪市の場合は、オンライン授業の中でウェブ会議システムのチームズというソフトを活用しており、その中にチャット機能もございますが、教員の管理の下でチャットを使用することができるような管理方法を採用しております。タブレットの使用に当たっては、「学習のために使用する」「人を傷つけるようなことはしない」などを子どもたちが宣言する、タブレット活用のルールブックを作成し、使用開始前に子どもたちとともに考える機会を設けました。保護者に対しては、各中学校区単位でタブレット学習導入に関する説明会を開催させていただいております。

○教育長

松阪市の場合は、一部学校で早くからタブレット学習を導入していたことの蓄積から、子どもたちにパスワードを知らせる必要はない判断しておりました。パスワードを知らせることで様々な設定を変更したり解除できてしまい、それが危険な方向に進んでいく可能性もあります。チャット機能は非常に便利で、授業中に子どもたちの意見や会話が弾んでいくことによって活発な議論が生まれ、理解が深まることも多いですが、これは授業の中で行われることが基本ですので、授業が終わったら使用することができなくなります。しかし、子どもたちは想像力豊かですので、我々の想定を超えた動きを見せることも出てくるかもしれません。その際は「学習のために使用する」「人を傷つけるようなことはしない」ということに軸足をしっかり置いた上で、適切に対策を講じてまいりたいと考えています。

他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

○教育長

では、委員の皆様にご報告をさせていただきます。コロナ禍におけるアンケートを実施させていただきました。その結果、教育委員会として、子どもたちの相談窓口に加え、保護者の方々も相談できる窓口を整備していく必要がある。既にある相談窓口の更なる活用も含めてPTA役員の皆様と検討してまいりたいと考えております。

それと、現時点では緊急事態宣言がどのようになるのか不明ではありますが、このまま継続されない限り10月1日から教育委員会としては平常どおりの教育活動に戻していこうと考えています。これから市のコロナ対策会議で国県の動向も踏まえて検討した上で最終決定となるわけですが、教育委員会としてはそのように進めてまいり

ます。

この件につきまして、ご意見等ございましたら、お願いいたします。

◆委員

9月から学校が再開される前に、感染不安などを理由に学校に行かせて良いものかという相談が、ある保護者から私のほうにございました。そこで自分の子どものオンライン授業に午前中横について授業参観をさせていただきました。オンラインが途切れてしまうなどのトラブルも少しはありましたが、先生と子どもたちがうまく連携していてすごくいい授業でした。オンラインが繋がらなくなっても慌てることなく自分で繋ぎ直して授業に参加するなど、その光景を見ていて安心しましたし、私と同じような感想を持った別の保護者からも連絡をいただきましたので、その保護者の方に安心して登校させても大丈夫だと思いますとお伝えをさせていただきました。コロナ禍で不安は不安なんですけど、前向きに考えておられる保護者も多くいらっしゃるということが分かり、ありがたいことだと思いました。

ただ一点だけお願いがあります。複数の子どもがいるご家庭では、部屋の取り合いが始まるんだそうです。背景が映り込んでしまうことが理由のようです。学校によっては壁紙を準備していただいている所もあるようですので、その辺りも配慮していただけると、保護者も子どもたちもさらに安心してオンライン学習に取り組むことができるのではないかと感じています。

あと、中学生に対するワクチン接種ですが、子どもたちの間では割と話題に上がると聞いております。

○教育長

ありがとうございます。壁紙の話、あらかじめこういうところまで想像できて準備している学校としていない学校が存在している。教育委員も一律に配慮事項として盛り込むべきであったのかもしれませんが。素直に反省をしております。あと、子どもが何人かいるご家庭では子どもの人数分だけ部屋が必要になるということも配慮すべき点でしたね。こういうところも含めて工夫を重ねてまいりたいと思います。

◆委員

壁紙設定のほかにも背景のぼかし機能もありますので活用されてはいかがでしょう。ちなみに現在の私の背景がそれでなんです。

◆委員

自分の子どももぼかし機能は使っているんですけど、やはり背景が少しはわかってしまうみたいです。

○教育長

ありがとうございます。他にございませんか。

(委員から「なし」の声)

※※※

○教育長

他にないようでございますので、事務局から何かありませんか。

◎事務局長

特にございません。

○教育長

それでは、最後に事務局から次回の定例会の日程報告をお願いいたします。

◎事務局

次回の教育委員会定例会でございますが、
10月26日火曜日、午後1時30分から教育委員会室で開催いたしますのでよろしく
お願いいたします。以上でございます。

○教育長

来月は通常通り教育委員会室で開催できればと考えております。それでは、これをも
ちまして、令和3年9月第12回松阪市教育委員会定例会を閉会いたします。ありがと
うございました。

午後2時13分 閉会